

## 第25期日本学術会議 基礎医学委員会 IUPS 分科会 第1回委員会 議事録

日時 2020年(令和2年)12月14日(月) 16:00~17:00

場所 遠隔会議(オンライン開催)

出席: 久保義弘委員長、赤羽悟美副委員長、多久和典子幹事、伊佐正委員、  
岡村康司委員、加藤総夫委員、樽野陽幸委員(オブザーバーとして参加)

議題:

### 1. 委員長、副委員長、幹事の選出について

- ・ 当分科会世話人の伊佐委員から久保委員を委員長に選出することが提案され、賛同を得た。
- ・ 久保委員長から、多久和委員を幹事に、赤羽委員を副委員長に指名したい意向が示され、賛同を得た。

### 2. 特任連携会員の追加について

- ・ オブザーバーの樽野氏には、一時退席いただいた。
- ・ 日本学術会議から特任連携会員の選考と追加に関するルールの説明があった。
- ・ 久保委員長から、樽野氏を特任連携会員に推薦することが提案され、C.V.を基に、樽野氏の略歴、これまでの研究の成果、国際連携活動の実績等が説明された。委員の賛同を得て、IUPS分科会として、樽野氏を特任連携会員として推薦することを決定した。
- ・ 事務局から、12月24日に開催される日本学術会議の幹事会で審議を経て決定することが説明された。

### 3. 報告事項

久保委員長(IUPS 理事、FAOPS 事務局長)から、以下の報告がなされた。

#### (1) IUPS 関係

- ・ IUPS2021(北京)は、COVID-19の影響を受けて、IUPS2022として、2022年5月に北京にて開催される。そのプログラムの作成に向けて、シンポジウムの募集が、2021年1月-3月頃、行われる。日本の生理科学のプレゼンスを発揮できるよう、積極的に優れた提案を出していただきたい。
- ・ IUPS執行部3名と日本生理学会執行部3名のweb会合が12月2日に行われ、その席上で、IUPSの2つの新企画が紹介された。一つは、IUPS2022(2022/5)、Europhysiology(2022/9)、FAOPS2023(2023/11)等が開催される2022-2023を“Year-of-Physiology”として、生理学の振興を強化する企画である。日本生理学会としては、2023年3月に第100回大会が開催されるため、企画への参画を検討するよい機会と考えられる。もう一

つは、国際 Mentor-Mentee 制度で、junior - senior のペア、peer-to-peer の相互ペアで、助言、指導等を行う企画である。

- 日本学術会議から、24 期時点での IUPS に関する調査表の update を求められた。作成時点が 2019年 1月だったため、24期の終了時の 2020年 9月の時点に立って改訂し提出した。今後、日本学術会議の web page にアップロードされる。
- IUPSから、日本生理学会に対し、次期IUPS理事（2022-2025）の候補者の推薦依頼があり、2名を推薦した。今後、各国生理学会等からの推薦を踏まえて、指名委員会が最終リストを作成し、IUPS2022 コンgress時に開催される総会で決定する。
- 日本学術会議から、IUPSの財務担当者の事務局員に対し、2019年の財務報告を繰り返し求めているが未着である。そのため、久保委員から、IUPS President の Julie Chan 氏に対し、直接、依頼するメールを送った。

## (2) FAOPS関係

- FAOPS2023 はテヘラン（イラン）での開催、FAOPS2027 はデグー（韓国）での開催が決定していたが、イランの国際政治状況、経済状況の変化を踏まえて、FAOPS2023のイラン開催に関する懸念が示された。それを受けて意見交換を行い、イラン生理薬理学会から、FAOPS2023 と FAOPS2027 の開催国を relocate する案が提案された。FAOPS理事会で審議したところ、FAOPS2027 が再度、relocate となることへの懸念等が示された。その結果、FAOPS2023 をデグー（韓国）開催とすること、FAOPS2027 は 2023 の総会で最終決定すること、ただし、FAOPS 理事会としては、総会においてテヘラン（イラン）を強く推薦することが決定した。